

五・六丁目町内会 住環境新聞

車両交通量調査を行いました



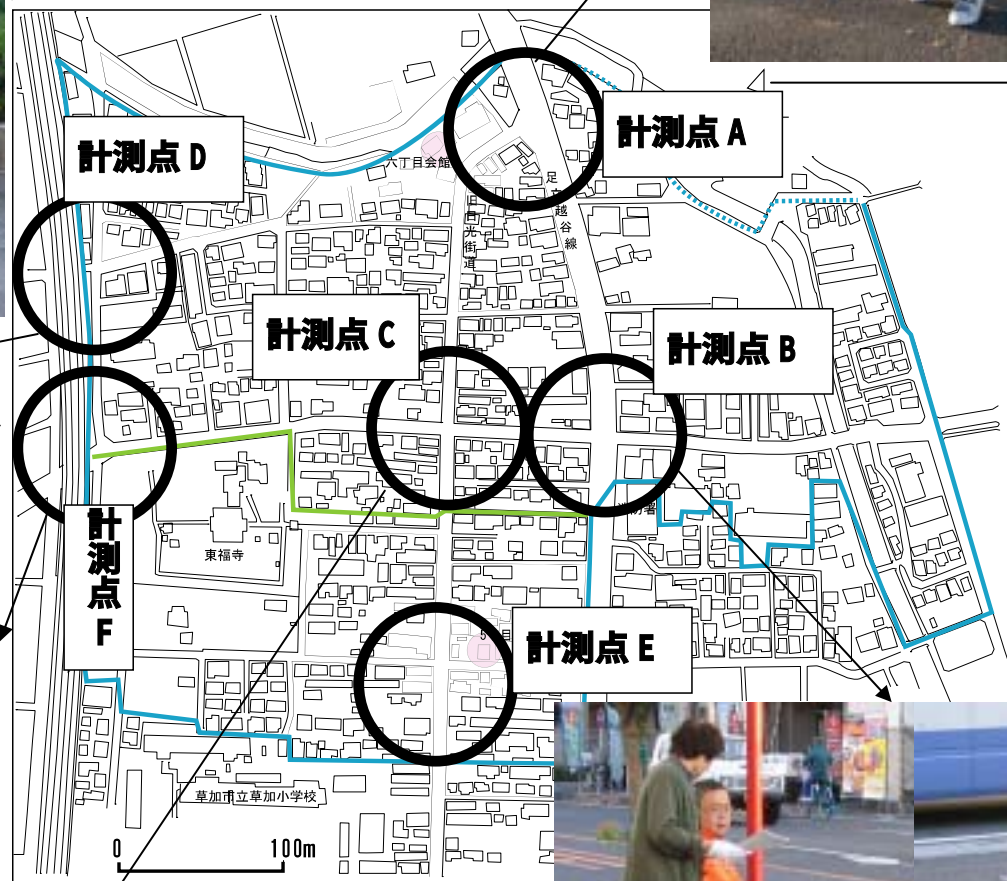
計測点 A の様子



計測点 B の様子



計測点 D の様子



↑ 計測点 F の様子



計測点 C の様子



実際に使用した
カウンター



計測点 E の様子



【新聞の発行にあたって】

この草加市五・六丁目町内会住環境新聞は、住民の皆さまに住環境に対する興味を持っていただきたい、また住環境実測調査などの実際の活動に参加していただきたいとの思いを込めて発行しております。この新聞を読んで少しでも関心を持っていただければ幸いです。なお、この新聞は毎月発行する予定です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

よく晴れた11月4日(木)、朝7時からという早い時間にもかかわらず、14人の方々が実測に参加しました。当日はアクシデントもなく、無事に実測を終えることができました。

南北に通る足立越谷線の交通量は一時間に片側約600台で、東西に通る道路の交通量は一時間に約300台でした。ただ、足立越谷線に比べ、東西に通る道路は道幅が狭く右折車線もないため、渋滞することが多くありました。

路上駐車調査も同日実施

交通量実測調査と同日、午前7時から午後7時まで、足立越谷線と旧日光街道において路上駐車実測調査を行いました。参加者は交通量調査に参加した方の中から2名が参加しました。

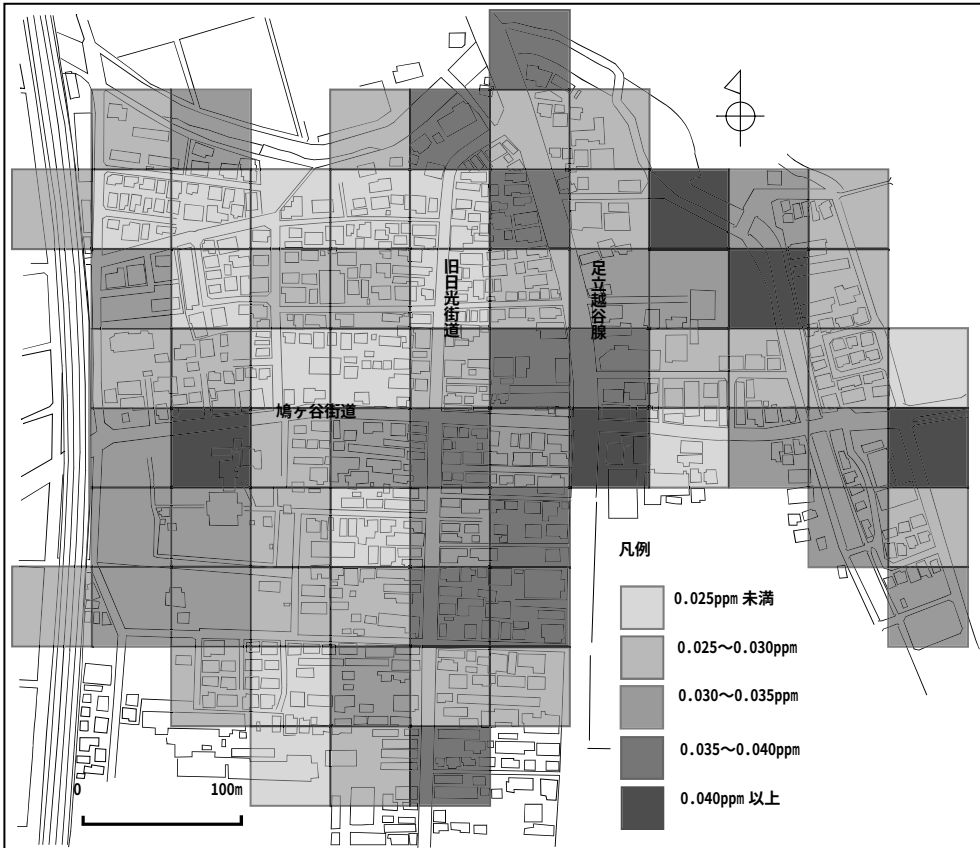
実測の結果、商店の前など、特定の場所に多く停まっていることがわかりました。また、午後2時が最も多く、合計10台の車が停まっていた。

参加したお二方、お疲れ様でした。





カプセル作成作業の様子



二酸化窒素の住環境マップ

上記の地図は五・六丁目町内会区域の二酸化窒素の量を住環境マップに表したものです。メッシュの色が濃くなるほど、二酸化窒素の濃度が高くなっています。赤い部分はこれ以上濃度が高くなってしまうと環境基準を超えてしまう場所です。東西に通る細い道路と足立越谷線の交差点は地区内でも最も高い値が出ました。そのほか、さまざまな要因で値が高くなった場所があります。皆さんが住んでいる区域はどのようなことが原因で上記のような値になったのか考えてみましょう。

二酸化窒素の住環境マップができました

第三回コラム（連載）

コメント 池田謙作さん

五・六丁目町内会地域の車事情

今回の交通量実測調査を通じて、東福寺のそばの東西にのびる道路は足立越谷線ほど交通量が多くはないが、地域の道路としては多いと感じた。また、歩道が確保されていなので歩くときはとても危ないと感じる。

交通量に関しては平日は朝が多いが、休日は昼から夕方にかけて多くなる。これは、大型商業施設があるため

なのでしょうがない。

路上駐車は商店とマンションの前に多い。商店は搬入のため、マンションは来客が停めることが多い。マンションの前の駐車に関しては、消火栓の前に停めてしまうことがあるのでとても危険である。また、マンション内の誰のものがかわからず、対処に困ったことが何回あった。商店に関しては、商人の町ということもあり、ある程度はしょうがないと思う。

懇談会日時決定

日時:1月15日(土)19時～
集合場所:五丁目会館

懇談会では、いままでの調査の結果から第二回アンケートの結果まで、今回の全ての調査に関して報告いたします。

今回の実測結果をどのように使うか、これから五・六丁目町内会地域でどのようにまちづくりを行っていけばよいかなど、五・六丁目町内会地域のこれからについても話し合えればと思います。

《お問い合わせ先》

芝浦工業大学

システム工学部 環境システム学科 三浦研究室

〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作 307

TEL/FAX 048-687-5832

Email: r01030@sic.shibaura-it.ac.jp (子安)

URL: <http://www.mmlab.se.shibaura-it.ac.jp/>

担当学生: 子安直人 佐藤元

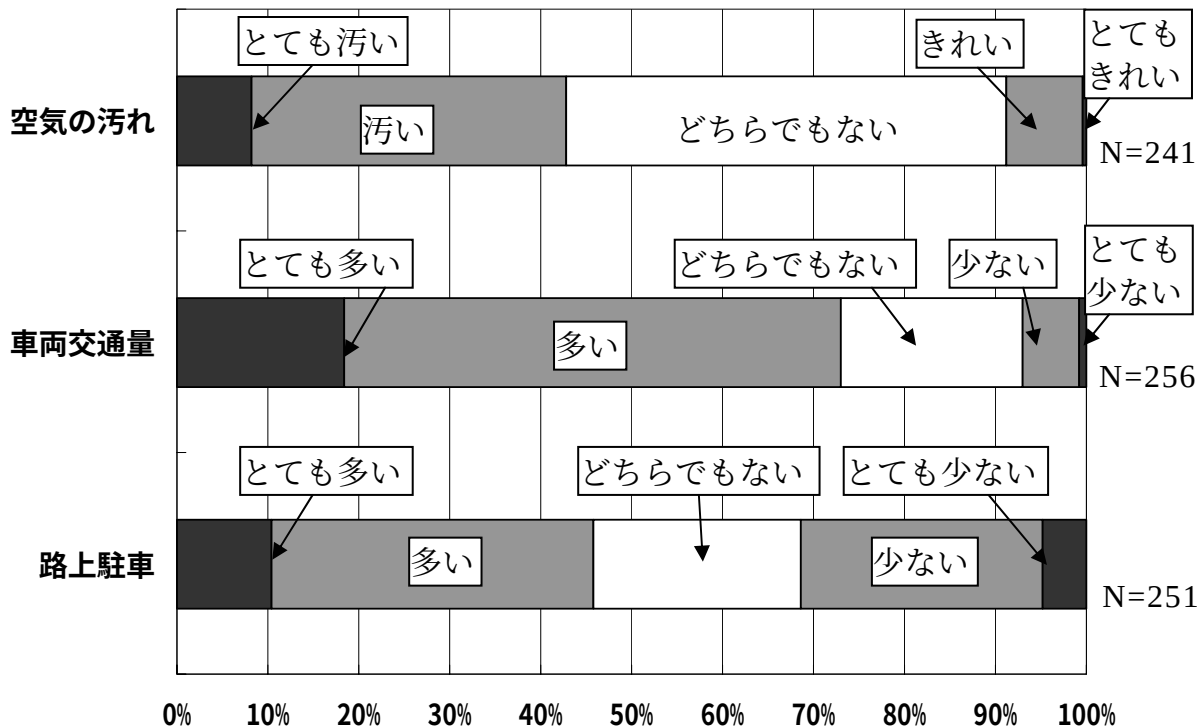
第一回アンケート結果報告

11月の初めに行ったアンケート調査の集計が終わりしました。班長さんを通してのアンケートの配布・回収ということもあり、最終的なアンケート回収率は約80%にものぼりました。班長の皆さん、各戸への配布・回収お疲れ様でした。

下の図は第一回アンケートの結果を集計したもの的一部分です。今回、二酸化窒素・交通量・路上駐車の調査をそれぞれ行いましたが、調査を行う前、住民の皆さんはそれぞれの項目に対してどのように感じていたかということがわかります。

たとえば、空気の汚れと路上駐車に関しては、とても汚い（とても多い）と汚い（多い）を足すと約40%ほどですが、車両交通量に関しては、とても多いと多いを足すと約70%ほどになります。ここから、五・六丁目町内会においては、車両交通量に関して問題があるのではないだろうかということが考えられます。

もちろんこの図からは、もっと違った意見が出てくることもあると思います。皆さんも考えてみてください。



それぞれの環境に対する意識